

復元国絵図公開・研究発表会

江戸時代の巨大手書き絵図・国絵図、その制作過程を解き明かすため、
国絵図を実際に復元制作しました。

復元図を公開するとともに、制作にあたった東京芸大・筑波大の皆さんから制作の様子をご報告いただき、また復元に先行して進めてきた現存国絵図調査の成果の一端をご報告いたします。興味のある方はどなたでも、ぜひ御来聴ください（参加費無料）。

事前申し込み先 <http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>(東京大学史料編纂所 HP)

問い合わせ先 s-yoshioka@hi.u-tokyo.ac.jp r-yokochi@hi.u-tokyo.ac.jp

2011年7月5日(火曜日) 15:00～17:30

東京大学福武ホール地下1階大会議室

※以下、いずれも仮題

1 復元図見学 15:00～15:30

2 杉本史子(東京大学・史料編纂所) 15:30～15:40
国絵図復元研究とは—絵図作成における絵師の領分・発想

2 荒井経(東京芸術大学大学院・美術研究科)国絵図復元の経過ならびに成果 15:40～16:10

3 各制作担当者からの報告 ★制作模型・復元図を利用して 16:10～16:40(各10分)

描画 染谷香理 (東京芸術大学大学院・美術研究科)

表装 平 諭一郎 (東京芸術大学大学院・美術研究科)

書記(文字) 中村裕美子 (筑波大学 博士課程)

4 絵図調査からのコメント 16:40～17:20(各10分)

村岡ゆかり(東京大学・史料編纂所) 国絵図のモチーフと使用色料

高島晶彦(東京大学・史料編纂所) 国絵図作成の痕跡—針穴・へら跡

佐藤賢一(電気通信大学・総合文化講座) 国絵図の作図法

中村雄祐(東京大学大学院・人文社会系研究科)

国絵図作成の社会的条件-復元研究と歴史研究の関係

5 報告者・参加者フリートーク 17:20～17:30